

ぶらっと山歩 (さんぽ)

コロナウィルス騒動からの脱出～ 自然歩道・小野鴨池コースへ

文と写真 : 吉野会長

中国武漢に端を発した「コロナウィルス」の感染は益々勢いを増し、3月1日12時時点で国外では感染者数が86,133人、死亡者数2,966人と大変深刻な事態になっている。日本においても感染者数294人、死亡者6人が出、これからまだまだ広がることが予想される。



満開近し！咲き誇る梅/JR小野町駅近くで

本来なら本日(3月1日(日))に行う予定であった「神戸ヒヨコ登山会・令和2年度定時総会」の中止を決定し発令したのは2月24日。3分割縦走その2を開催した翌日である。すでに総会の準備はすべて終え、当日を迎えるのみであった。しかしながら、150～160人で満席となる会場に、153人もの方が集われ、ましてや食事をすると、万が一何が起こるやもしれない！・・・県の施設を使い、23名もの議員会員様にも出席願っている！・・・会場、弁当、その他諸々のキャンセルをぎりぎり迄待って行おう！そう心に決めたのは20日であった。・・・



春らしい色の花を咲かせたセイヨウカラシナ

・・・そして24日早朝、3副会長及び本部会計責任者に了解を得て午前中にすべての手続きと中止の発令を終えたのである。・・・結果、判断に間違いはなく、それから1週間の世間の騒動たるや皆様ご存知の通りである。

.....

ぽっかり空いた3月1日、コロナウィルス騒動からの脱出(気分転換!)にと思い、久しぶりに一人で「ぶらっと山歩」に出かけた。

本来ならばこの季節、雪のある山へ行くのだが、近郊には全く雪は無し！・・・ならば!と思い、1回だけ残っていた、いや残していた「神鉄シーパスワン」を使用し、小野へ向かった。



上/小野アルプスの東半分

下/小野アルプスの西半分(紅山遠望)



新開地7:02発準急小野行に乗車。鈴蘭台までは湊川と長田で止まり、丸山、鶴越の各駅は通過するので如何にも早く感じるが、鈴蘭台から先は各駅停車となる。結局ローカルな旅?に変わりなく、下車した神鉄小野駅は8:10頃のスタートとなった。昨日は午後から小雨模様の天気だったので未だ道路も濡れており、少し青空が覗くものの、あまりスッキリとしない小野の市街であった。・・・

さて、何処へ？・・・と、行く先も考えずに飛び出したものなので、足の向くまま、気の向くまま、と思いつながら、何度も通っているJR小野町駅までのまっすぐな車道を歩き出した。



竹山（160M 通称：阿形富士？）遠望

加古川を跨ぐ大住橋まで来ると、西北西方向（鴨池方面）に、低山ではあるが割りと美しい形をした山が見える。この原稿を書く前に、他の用件で小野在住のK氏に電話を掛けるまで、その山が「竹山・160M」という名前であるとは知らなかった・・・



竹山の南側をぬってついている自然歩道

（遠い昔、どこかの山の帰りに誘われてついでに登ろうとしたが、登山道が無く、藪漕ぎまでして登る山でもない諦めた「糠塚山・ぬかづかやま 150M」だとばかり思っていた・・・

帰宅後、国土地理院地形図で調べると、なるほど糠塚山は竹山と一直線上の未だ西奥に位置しており、標高差が僅か 10M 低いだけですっぽりと隠れているのであった！。）

小野アルプスは何度となく訪れているので、東端から西端までの縦走コースや距離・時間は頭の中にあるが、鴨池を従えた竹山周辺を未だ歩いたことが

無い。それでは！と歩を進める。

JR小野町駅舎にあるそば処「ぷらっときすみの」で持ち帰り用の巻寿司を予約し、足は自然と竹山の方向にと進み出した。

小川の土手に沿って付けられた道を、のんびりと歩く。薄紫色の花を付けた野草が、春を感じさせてくれる。ツクシは未だ頭を出していないが、まもなくであろう・・・



手作りの標識（右・鴨池へ 左・栗生駅へ）

小野市来住町（きしちょう）と加古川市上荘町を結ぶ車道へ出て右へとり、鴨池公園への矢印にしたがって歩いて行くと、自然歩道・鴨池一周コース（全長 4.8 km）の標識が目に入る。

ここは小野ゴルフ倶楽部の敷地を縫って付けら



ゴルフ場のネット越しに望む小野アルプスと鴨池れたハイキング道で、「これならヒヨコの先輩紳士・先輩淑女も気軽に歩けるな～。良い季節に計画をしよう！」と考えながら歩いて行く。いつもなら目的の山へ行く場合、必ず地形図をもって来るのだが、今回はコンパス（磁石）のみの持参である。竹山のピークはあのあたり・・・と想像し、その先にある不動ヶ尾（147.8M）そして糠塚山へは、高圧線の巡視路を迎れば行けそうなので次回の

楽しみに置いておくことにした。

1時間程で自然歩道コース歩きを終了し、小野と加古川を結ぶ県道118号に出た。

せっかく来たのだから・・・と、男池に渡って来ている鴨たちを見に寄る。

マガモにカルガモ、オナガガモやコガモなどが、気持ちよさそうに群れていた。定着した鴨と違い、羽など全体に大変艶やかな色であった。



越冬のため鴨池・男池に飛んできてくる鴨

続いて女池を除くと・・・いたいた白鳥だ！！
7~8人のカメラマンが隠れるようにしてカメラを覗き込んでいる。羽を広げた一瞬を狙って



女池に来ていたコハクチョウ（白鳥）

いるのだろうが、朝の早いコハクチョウさんはこの時間、そろそろ昼寝の時間ではないでしょうか・・・

頼んでおいた巻寿司を引き取る為、11時前に店に着いた。店内の席はすでに満席。席の順番はノートに書いて待つらしい。さすがに人気の店「ぶらっとすみ」である！。

カウンター席が一つ空いていたのでシンプルなざるそばを注文。大変美味しく頂きました。



2/8割の“竹盛りそば”？

わずか半日だけの「ぶらっと山歩（散歩）」であったが、こちらの方ではコロナウィルスどこ吹く風??のようで、マスク姿も駅では見たがほとんど目にしなかった。

残しておいたシーパスワンのおかげで小野へ来れ、コロナウィルス騒動からは一時逃れられた「ぶらっと山歩」であった。